

第 2 1 回 田沢湖・角館・西木合併協議会

日時 平成17年8月9日（火） 午後2時00分

場所 角館広域交流センター

会 議 次 第

1 . 開 会

2 . 会長あいさつ

3 . 会議録署名委員の指名について

4 . 議 題

報告第 3 5 号 平成 1 7 年度田沢湖・角館・西木合併協議会補正予算
について

報告第 3 6 号 新市の指定金融機関について

報告第 3 7 号 事務組織の見直しについて

協議案第 6 5 号 仙北市市章デザインについて

その他

5 . 閉 会

報告第35号

平成17年度 田沢湖・角館・西木合併協議会補正予算(第1号)

平成17年度 田沢湖・角館・西木合併協議会の補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,014千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12,015千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出補正予算」による。

第1表 歳入歳出補正予算

【歳入】

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	計	説 明
2 繰越金		10,000	2,014	12,014	
	1 繰越金	10,000	2,014	12,014	前年度繰越金 2,014
歳入合計		10,001	2,014	12,015	

【歳出】

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	計	説 明
2 事業費		5,012	2,010	7,022	
	1 事業推進費	5,012	2,010	7,022	住民PR費追加(仙北市特集号新聞広告料) 1,575 新市開庁舎式関係費追加 435
3 予備費		817	4	821	
	1 予備費	817	4	821	
歳出合計		10,001	2,014	12,015	

新市の指定金融機関等について

新市の指定金融機関等について、次のとおり報告する。

- 1．合併時における仙北市の指定金融機関には、株式会社秋田銀行を指定する。ただし、3年経過後において、株式会社北都銀行との交替を含めた見直しを行うものとする。
- 2．地方公営企業法を適用する病院事業、水道事業（簡易水道事業を含む。）温泉事業の業務に係る出納の一部を取り扱う出納取扱金融機関には、株式会社北都銀行を指定する。ただし、3年経過後において、株式会社秋田銀行との交替を含めた見直しを行うものとする。
- 3．収納代理金融機関及び地方公営企業における収納取扱金融機関については、秋田おばこ農業協同組合をはじめ、現在3町村で指定している金融機関支店等を、仙北市においても引き続き指定するものとする。

事務組織の見直しについて

事務組織の見直しについて、別紙のとおり報告する。

【合併協定項目の確認内容】

事務組織及び機構の取扱いについては、次のとおりとする。

- (1)新市の組織は、住民サービスが低下しないよう十分配慮する。
- (2)新市の事務組織及び機構は、「新市における事務組織・機構の整備方針」に基づき整備する。

【新市における事務組織・機構の整備方針】

住民にわかりやすく、利用しやすい組織・機構

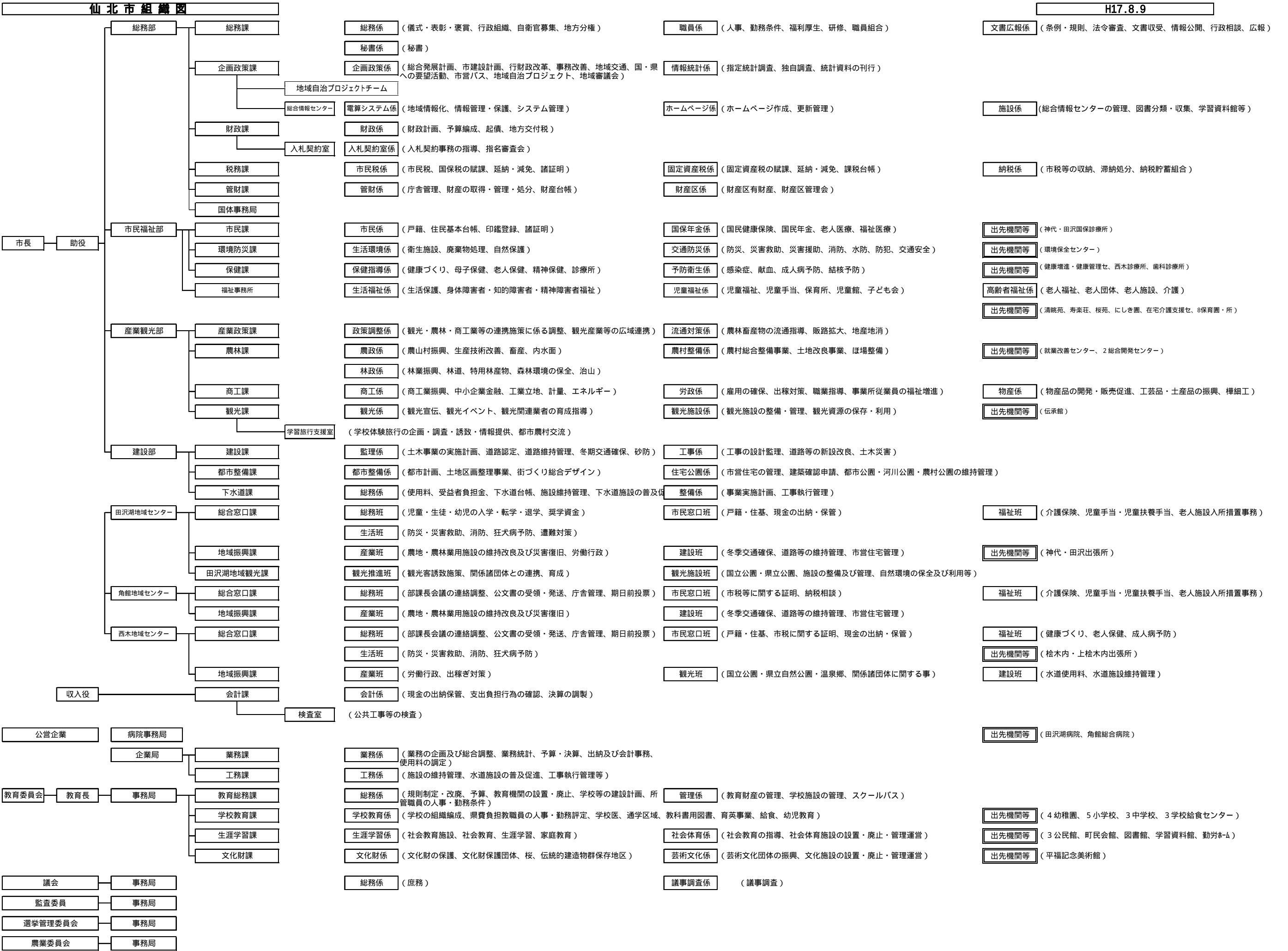
住民の声を適正に反映できる組織・機構

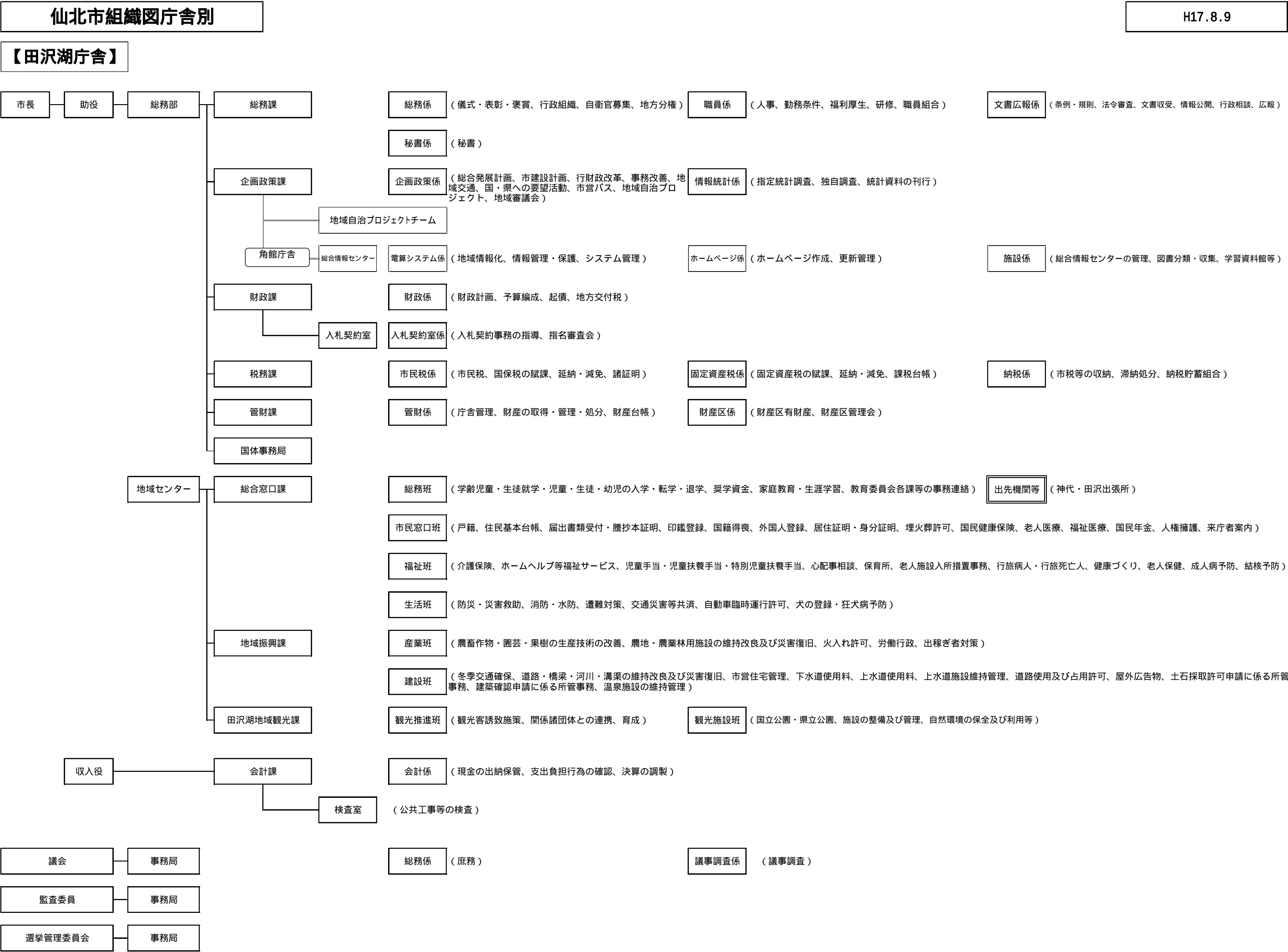
指揮命令系統を簡素化し、責任の所在が明確な組織・機構

各庁舎に住民がよく利用する窓口業務を行う「地域センター」を設置する組織・機構

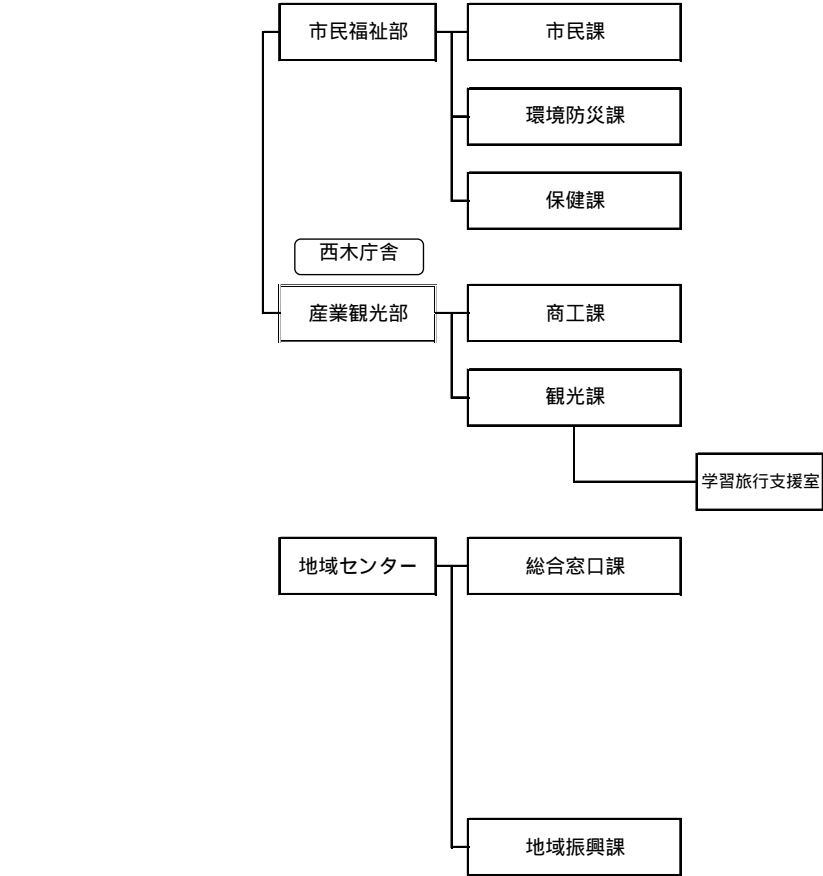
行政課題に迅速かつ的確に対応できる組織・機構

新市建設計画が円滑に遂行できる組織・機構

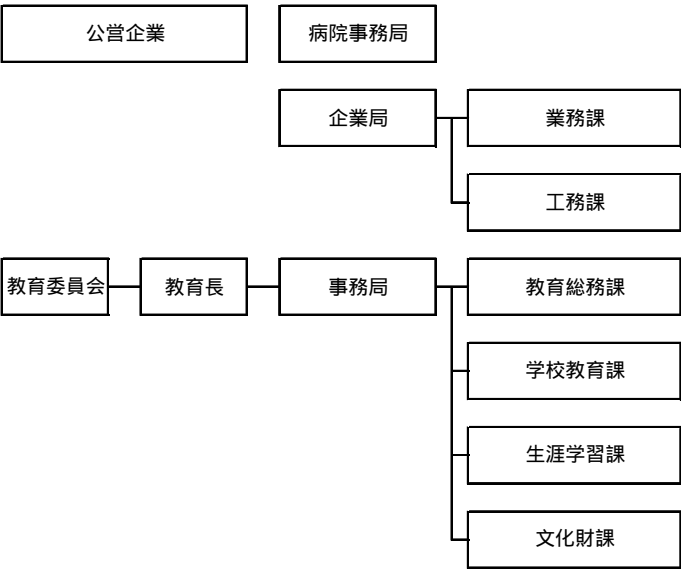




【角館庁舎】

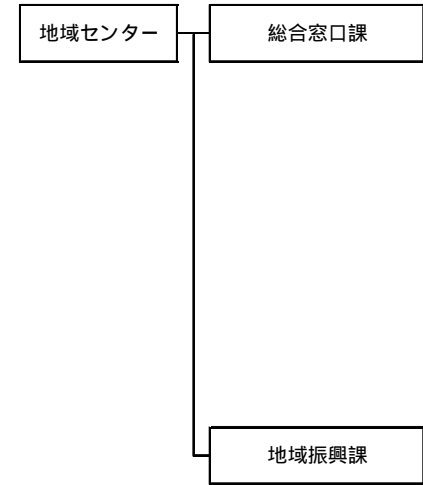
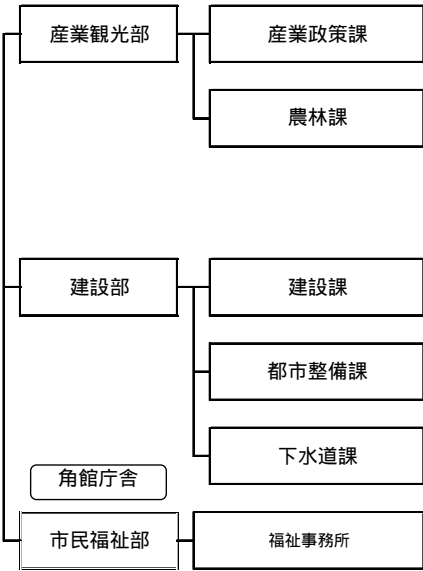


市民係	（戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、諸証明）	国保年金係	（国民健康保険、国民年金、老人医療、福祉医療）	出先機関等	（神代・田沢国保診療所）
生活環境係	（衛生施設、廃棄物処理、自然保護）	交通防災係	（防災、災害救助、災害援助、消防、水防、防犯、交通安全）	出先機関等	（環境保全センター）
保健指導係	（健康づくり、母子保健、老人保健、精神保健、診療所）	予防衛生係	（感染症、献血、成人病予防、結核予防）	出先機関等	（健康増進センター・健康管理センター・西木診療所・歯科診療所）
商工係	（商工業振興、中小企業金融、工業立地、計量、エネルギー）	労政係	（雇用の確保、出稼対策、職業指導、事業所従業員の福祉増進）	物産係	（物産品の開発・販売促進、工芸品・土産品の振興、樺細工）
観光係	（観光宣伝、観光イベント、観光関連業者の育成指導）	観光施設係	（観光施設の整備・管理、観光資源の保存・利用）	出先機関等	（伝承館）
（学校体験旅行の企画・調査・誘致・情報提供、都市農村交流）					
総務班	（教育委員会・選挙管理委員会等その他の執行機関の連絡調整、部課長会議の連絡調整、各部課等への事務連絡、庁内令達、宿日直、公印の管守、請願・陳情・苦情等の取次、公文書類の受領・発送・保存、文書事務指導、情報公開、行政連絡員、寄附・寄附採納受付、コミュニティ対策、庁舎管理、財産区有財産の管理・処分、財産区管理会、期日前投票、歳入歳出外現金の出納・保管、歳入歳出現金の出納・保管）				
市民窓口班	（市税等に関する統計・調査・諸報告・証明、市税等に関する異議申立・訴願・訴訟取次、固定資産課税台帳・補充台帳・地積図その他図面、市税等の収納、納税貯蓄組合、納税相談、歳入歳出外現金の出納・保管、来庁者案内）				
福祉班	（介護保険、ホームヘルプ等福祉サービス、児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当、心配事相談、保育所、老人施設入所措置事務、行旅病人・行旅死亡人）				
産業班	（農畜作物・園芸・果樹の生産技術の改善、農地・農林業用施設の維持改良及び災害復旧、火入れ許可）				
建設班	（冬季交通確保、道路・橋梁・河川・溝渠の維持改良及び災害復旧、市営住宅管理、下水道使用料、上水道使用料、道路使用及び占用許可、屋外広告物、土石採取許可申請に係る所管事務、建築確認申請に係る所管事務）				



業務係	（業務の企画及び総合調整、業務統計、予算・決算、出納及び会計事務、使用料の調定）				出先機関等	（田沢湖病院、角館総合病院）
工務係	（施設の維持管理、水道施設の普及促進、工事執行管理等）					
総務係	（規則制定・改廃、予算、教育機関の設置・廃止、学校等の建設計画、所管職員の人事・勤務条件）	管理係	（教育財産の管理、学校施設の管理、スクールバス）			
学校教育係	（学校の組織編成、県費負担教職員の人事・勤務評定、学校区、通学区域、教科書用図書、育英事業、給食、幼！				出先機関等	（４幼稚園、５小学校、３中学校、３学校給食センター）
生涯学習係	（社会教育施設、社会教育、生涯学習、家庭教育）	社会体育係	（社会教育の指導、社会体育施設の設置・廃止・管理運営）		出先機関等	（３公民館、町民会館、図書館、学習資料館、勤労ホーム）
文化財係	（文化財の保護、文化財保護団体、桜、伝統的建造物群保存地区）	芸術文化係	（芸術文化団体の振興、文化施設の設置・廃止・管理運営）		出先機関等	（平福記念美術館）

【西木庁舎】



協議案第 6 5 号

仙北市市章デザインについて

「仙北市」市章デザイン採用候補作品

候補作品 1	
	「仙北市」の頭文字「仙」を、合併する3町にちなんで三角形で表したもので、下から上に伸びるさまは、市民の向上心を、また、上から下に広がるさまは、市勢の永久の発展を表しています。
候補作品 2	
	仙北市の 人、山、北 という漢字の部品で構成。 日本古来の家紋を連想させ、歴史のある仙北市との整合性高い。 配色＞パストラルな環境とオーガニックな生活の大切さを謳う市に相応しい若葉色で彩色。
候補作品 3	
	仙北市の仙の字をモチーフとした案。 東北の観光資源である力強い自然、歴史、文化と拠点都市としての発展を表現している。
候補作品 4	
	中央に湖を有する新市の特徴的な「地形」と観光を象徴化した「目」を融合させ、点対称の造形で「交流・拠点」を表し、右上がりの立体的でダイナミズムな造形とともに新市・市民の「活力・飛躍・発展」を表現した。
候補作品 5	
	新市「仙北市」の頭文字「S」を抽象的にデザイン化した。 3町村の集結と新市の発展、広がり。また、光の3原色のはためきの表現で、観光、躍動、を表した。

並びは受付番号順。

作品は原本を複写しているため、原色とは若干異なります。

仙北市市章募集結果

応募作品数

		男	女	計
3町		307	263	570
	田沢湖町	121	114	235
	角館町	163	118	281
	西木村	23	31	54
その他県内		116	41	157
県外		256	20	276
合計		679	324	1,003

応募者数

		男	女	計
3町		165	193	358
	田沢湖町	84	95	179
	角館町	63	71	134
	西木村	18	27	45
その他県内		48	19	67
県外		117	13	130
合計		330	225	555

合作は代表者1名で登録し、1名で計算

県内市・町章選考に関する先進地事例

参考資料

新自治体名	美郷町	大仙市	由利本荘市	潟上市	横手市	湯沢市	にかほ市
	H16.11.1合併	H17.3.22合併	H17.3.22合併	H17.3.22合併	H17.10.1合併予定	H17.3.22合併	H17.10.1合併予定
公募期間	平成16年4月15日	平成16年7月28日	平成16年8月17日	平成16年10月1日	平成17年5月1日	平成17年2月10日	平成17年6月1日
	平成16年5月14日	平成16年8月31日	平成16年9月30日	平成16年10月31日	平成17年5月31日	平成17年3月18日	平成17年6月30日
選考作業期間	6月下旬～7月上旬	9月中旬～11月下旬	10月中旬～12月下旬	11月中旬～12月下旬	6月1日～6月23日	3月19日～6月	7月1日～7月15日
応募総数	684作品	1,530作品	2,262作品	1,356作品	1,137作品	774作品	511作品
選考機関	専門機関へ委託	候補作品選考委員	専門機関へ委託	専門機関へ委託	候補作品選考委員	専門機関へ委託	候補作品選考委員
最終候補作品	5点	6点	6点	5点	6点	5点	5点
住民意向	なし	住民アンケート	なし	なし	なし	なし	なし
採用作品賞金	10万円	20万円	30万円	10万円	20万円	10万円	20万円
優秀賞	4点・1万円	5点・2万円	3点・5万円	4点・1万円	5点・2万円	4点・1万円	なし
市・町章							
作品の趣旨	美郷町の頭文字であるひらがなの「み」をモチーフに抽象化したデザインで、親しまれながら発展することを願っている。上から「希望」「飛躍」「親睦」を表示している。	未来(あす)に向かって力強く羽ばたく鵬(おおり)のイメージを大仙市のインシャル「D」の文字にアレンジしてデザイン。 せなかの赤い円は、夢と希望に満ちた同市の活力と発展を象徴しています。	1市7町の合併に因み、由利本荘の「由」と「本」の字体を合体し、「由」とも「本」とも取れるデザインを全体のモチーフとしています。ユリの花、ユリの根、ごてんまりをベースとして「人と自然が共生する躍動と創造の都市(まち)」を意識して躍動感のある造形といたしました。	潟上の「上」の字を、大小二つの弧と、一つの円で表した簡明なデザイン。緑の小さな弧と右隣の赤い円で「人」の字をかたちどり、緑と青の大きな弧で「優しい環境」を意匠した。	全体の形は、横手市の「よ」と平鹿郡の「ひ」と「Y」でもありますが。オレンジはみのりを、グリーンは田園を、ブルーは清流を表しています。さわやかで元気な人々のまち「豊かな自然豊かな心夢あふれる田園都市」のイメージです。	湯沢市の「ゆ」をモチーフに、4つの三日月で4市町村を表す。色は3色で緑は緑豊かな稲穂、青は雄物川の水、オレンジは人の活力と歴史、文化を表し、「あたたかなまち」をイメージしている。	にかほ市の「に」の字をモチーフし、豊かな自然環境と未来に向かって力強く躍動する人の姿を合わせてデザインし、新市の将来像「夢あるまち豊かなまち 元気なまち」を象徴的に表現している。
選考方法	第1次審査:専門機関(日本グラフィックデザイナー協会)へ委託し10点まで選考。第2次審査:合併協議会で5点まで選考。最終審査:合併協議会委員の投票で1点に選考。	専門的識見を有する選定委員会(グラフィックデザイン専門家3名により組織)に類似作品等の選別業務を業者委託。住民アンケートで選考。	選考、調査、補修正は、専門機関(日本グラフィックデザイナー協会)へ委託し、4点まで選考。4点から首長会で最終選考。	第1次審査:専門機関(日本グラフィックデザイナー協会)へ委託し5点まで選考。最終審査:合併協議会委員の投票で1点に選考。	専門的識見を有する選定委員会(グラフィックデザイン専門家6名により組織)において6点まで選考。類似作品等の選別業務等は業者に委託。最終審査:合併協議会委員の投票で1点に選考。	第1次審査:専門機関(日本グラフィックデザイナー協会)へ委託し5点まで選考。最終審査:市章選定委員会1点に選考。	市章選定委員会(3町長、各町一般有識者、学識経験者により組織)において5点まで選考。類似作品等の選別業務等は業者に委託。最終審査:合併協議会で協議、満場一致で決定。
採用作品の応募者の住所	旧六郷町六郷	東京都	神奈川県	神奈川県	愛知県	東京都	福岡県